

けんちく寿プロジェクト

[趣意書]

建物の誕生は、夢が叶い期待が膨らむ初々しくも喜ばしいできごとです。そのお祝いは盛大に行われ、おそらくその建物にとって最も晴れがましい瞬間でしょう。我々も大いに注目し、話題にするのはこの新築時です。そして、次に注目を浴びるは、取り壊しや建て替えの頃だというケースも少なくありません。

しかし、その間の経年の様子は、見過ごされがちで、現役で活躍中の建築の姿には、あまり目を向けてこなかったような気がします。そのような中にあって、我々は、熊本における建築の経年を人生に例え、二十歳や還暦などといった建築が歳を重ねてきた節目を祝うプロジェクトを始動することにしました。

その祝いの会では、建築の見学会や関係者・ゆかりの方々からのお話やメッセージをいただければと思っております。

そうして、建築の成長の過程と向き合い、ともに歩むことで、その建築が最期を迎えるときは、それまでの月日を労って送れるような、"建築との仲"になればと願っています。 (2010年10月 けんちく寿プロジェクト実行委員会)

[これまでの活動]



第1回(2010年12月4日)

「北署※」の二十歳を祝う ※現熊本中央警察署

建物ができるまでの過程を披露するなど、見学会や設計関係者による座談会を通して二十歳を寿ぐ。



第2回(2011年11月12日)

二つの医師会館建築を寿ぐ

熊本市医師会館・看護専門学校の誕生と、熊本県医師会館の厄晴(43歳)を寿ぐ。



第3回(2012年12月1日)

熊本通信病院※を寿ぐ ※現くまもと森都総合病院

『通信建築と山田守』を主題としたテーマトークや見学会により、もうすぐ還暦(56歳)を寿ぐ。



第4回(2013年12月7日)

「九州学院高等学校講堂兼礼拝堂」の卒寿を祝う

見学会や設計者にまつわる映像鑑賞を通して卒寿(数え年で90歳)を寿ぐ。



第5回(2014年1月10日)

「熊本県伝統工芸館」の厄晴れを寿ぐ

普段入ることのできない諸室も含めた建物の見学会やテーマトークにより、女性の厄晴れ(34歳)を寿ぐ。



第6回(2016年1月9日)

八代市立博物館「未来の森ミュージアム」を寿ぐ

普段見れない諸室見学会とテーマトークにより、男性の小厄(25歳)を寿ぐ。



第7回(2017年3月5日)

「孤風院」の復旧・復興をお手伝いします

例年と異なり、建築の暦を祝うのではなく熊本地震を乗り越えた孤風院の復旧・復興のお手伝いを実施。



第8回(2018年3月16-18日)

花畠町別館にまつわる6の問いかけ

解体された熊本市役所花畠別館(旧熊本貯金支局)の残された部材の展示を通して建築を語り継ぐ。



第9回(2018年2月16日)

熊本駅の現在と未来を寿ぐ

熊本駅周辺の見学会と設計者 西沢立衛氏による講演会を実施し、熊本駅の現在と未来を寿ぐ。

2021年1月 けんちく寿プロジェクト実行委員会

けんちく寿プロジェクト OB
ことぶかせ隊

西嶋公一 オフィス・ムジカ

西郷正浩 崇城大学工学部建築学科教授

田中智之 熊本大学大学院教授

志垣孝行 西田真浩 沖雄大 吉海雄大

熊本大学田中研究室 学生